

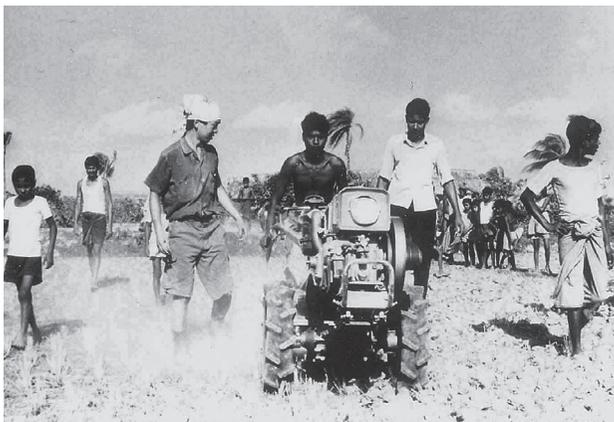


# 市民の力で、誰も取り残さない社会を ～50周年を迎える NGO のこれまでとこれから～

特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会 事務局長 小松 豊明

## 設立のきっかけ

シャプラニール=市民による海外協力の会は、1972年に設立された国際協力 NGO で、主にバングラデシュやネパールなどの南アジア地域で貧困削減を目的とした活動を行っています。きっかけは、1971年にバングラデシュがパキスタンからの独立を果たしたことです。独立戦争で多くの命が失われ、混乱した状況の中、世界各国から支援の手が差し伸べられました。日本でも数十人の若者たちによる「バングラデシュ復興農業奉仕団」が組織され、1972年にバングラデシュの農村に派遣されました。現地では、本来支援が必要な貧困層に支援による恩恵が届かない援助の現実を目の当たりにする一方、多くのメンバーがバングラデシュの人々や自然の豊かさに魅せられたのです。



バングラデシュ独立直後に派遣された復興農業奉仕団の活動の様子

## シャプラニール一名前の由来

半年間の活動から戻ったメンバーが、もっと自分たちにできることがあるのではないかと「ヘルプ・バングラデシュ・コミティ」を組織し、継続的な活動が始まりました。70年代、最初に通信員として現地へ派遣され

た吉田ユリノさんが、ユリ (Lily) にちなんでシャプラ (バングラデシュの言葉で睡蓮= Water Lily) と呼ばれるようになり、バングラデシュの事務所がシャプラニール (シャプラの家) と名付けられました。80年代に、それが会全体の名前となります。名前の一部である「市民による海外協力の会」には、特定の企業や団体に依存せず、広く市民によって支えられ、市民が活動をつくりあげる、という想いが込められています。



バングラデシュでの活動が始まってすぐ開始された女性手工芸品生産組合によるジュート (黄麻) 製品の製作風景

## 取り残された課題に取り組む

私たちはこれまでの経験から、お金やモノの援助だけでは問題の根本的な解決にはつながらないこと、人々が自分たちが抱える課題について考え、自らその解決のために行動することが不可欠であることを学んできました。そして、社会保障制度や援助の仕組みから取り残されてしまう人々の存在に注目した活動を行っています。現在、貧困の連鎖を止めるため児童労働の削減や初等教育の普及・推進に取り組んでいるほか、頻発する自然災害によって生活の基盤が失われることを防ぐため住民主体の防災・減災の取り組みにも力を入れています。こうした活動を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる社会

を目指しています。

また、活動開始当初から続けているフェアトレードの取り組みは、適正な賃金の支払いや労働環境の整備等により現地生産者の生活の向上を実現することを目的としています。同時にその製品を使う私たちの暮らしや消費行動を見つめなおす市民運動でもあります。



地機織で布を織るフェアトレードの生産者（ネパール）



バングラデシュで実施している家事使用人として働く少女たちの支援活動の様子。学校に通えない子どもたちが毎日開かれている支援センターで、読み書きを学び、子どもらしい時間を過ごす



ネパールで行っている洪水からの被害を軽減するためのコミュニティ防災事業の様子。住民によるメンテナンスが可能な技術を用い堤防を作っている

## フェアトレードの推進

私たちはバングラデシュとネパールで作られた製品の販売活動を行っていますが、同時に日本国内でのフェアトレードの推進にも力を入れており、ネットワーク組織である日本フェアトレード・フォーラム（FTFJ）の中心メンバーとして、フェアトレードタウンの認定事業等にも携わっています。フェアトレードタウン運動は、町ぐるみでフェアトレードを応援しようという取り組みで、2000年にイギリスから始まり、全世界に広がっています。日本でも2011年に熊本市がアジア初のフェアトレードタウンとなり、それ以降、名古屋市、逗子市、浜松市、札幌市、いなべ市が続いています。そのほかにも、多くの自治体でフェアトレードタウンとしての申請を目指している人たちがいます。市民と自治体の連携によるフェアトレードタウンの運動がさらに広がっていくことを願っています。

## より大きなインパクトを

シャプラニールは2022年に50周年を迎えます。現在、これから5年間の活動の方向性を指し示す中期ビジョンの策定作業を進めているのですが、その中で「社会的な影響力をより強める」ことをひとつの方針にしようとしています。もちろん、ひとつの団体だけで社会の変革を実現することはできません。他団体との連携、企業や自治体など他セクターとの協働にも力を入れ、より大きなインパクトを出せるようになりたいと考えています。



2017年に行われた浜松市のフェアトレードタウン認定証授与式の様子（写真提供：はままつフェアトレードタウン・ネットワーク）